

卒論途中経過

11/20

E060230

嶋谷 * *

第1章ヒートアイランドとは？

- 都市の中心部の気温が、郊外に比べて常に高い状態にある現象
- 特に、風のない夜での差が激しい
- 夏より冬のほうが激しい

第2章原因(1)

- ①.アスファルトの道路によって太陽熱を吸収し、夜間までに熱の放出が終わらない為に、夜間でも気温が下がらない
- ②.都市部の緑地面積が減少し、水蒸気の吸収が減り、大気中に熱せられた空気が留まる

原因(2)

- ③.都市部の人口集中によって、企業・家庭のエネルギー消費が増加して人口排熱増
- ④.高層ビルや無理な土地計画によって海風など風の通り道を遮断し、熱せられた空気が流れなくなった

対策(1)

1.屋上・壁面緑化による太陽光・排熱吸収

東京・兵庫では条例より義務付け

多くの自治体で助成金が出る

2.自動車・航空機・建築物からの人口排熱抑制

輸送業界では、モーダルシフト

家庭では、省エネ

対策(2)

3.都市部の人口集中を解消する

ただし、郊外に移転した人々がマイカーをより使うようになっては逆効果

4.都市再開発

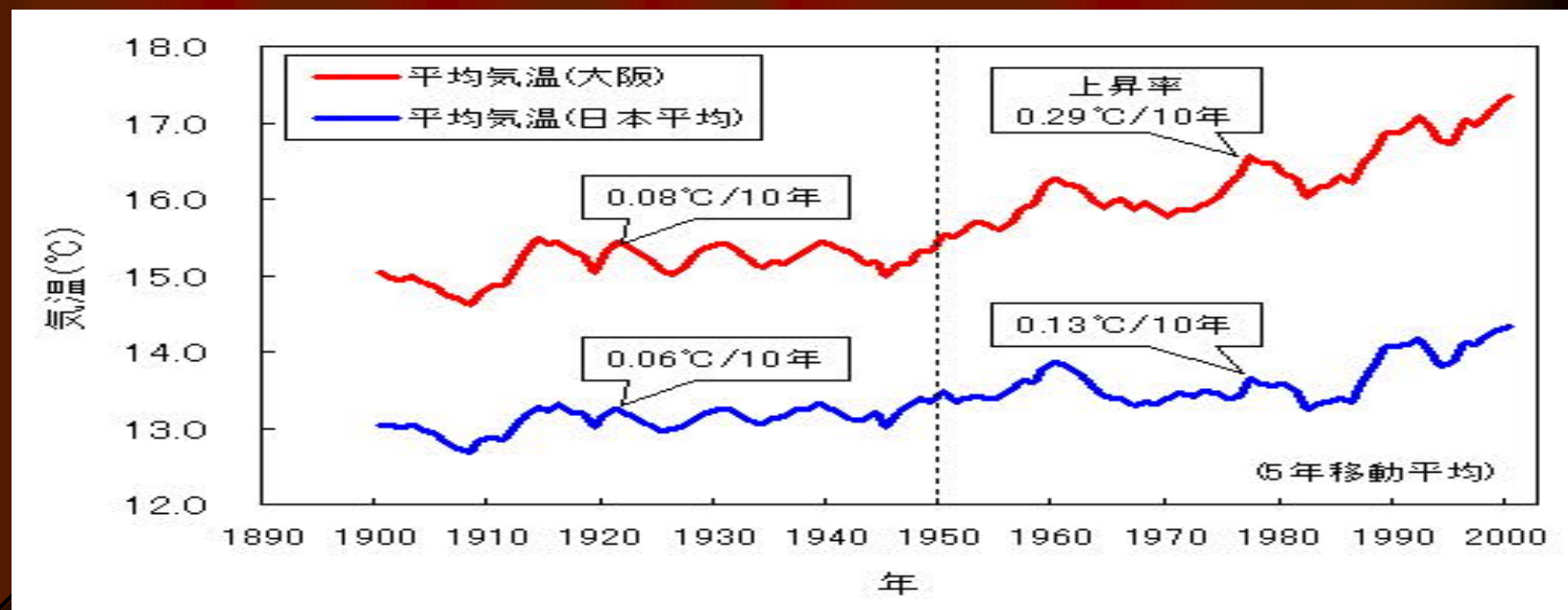
緑化・水辺の保護・風の道を確保などを一本化して考える

だが、費用・弊害などでなかなか実現しない

EX. 現状(大阪)・・・平均気温

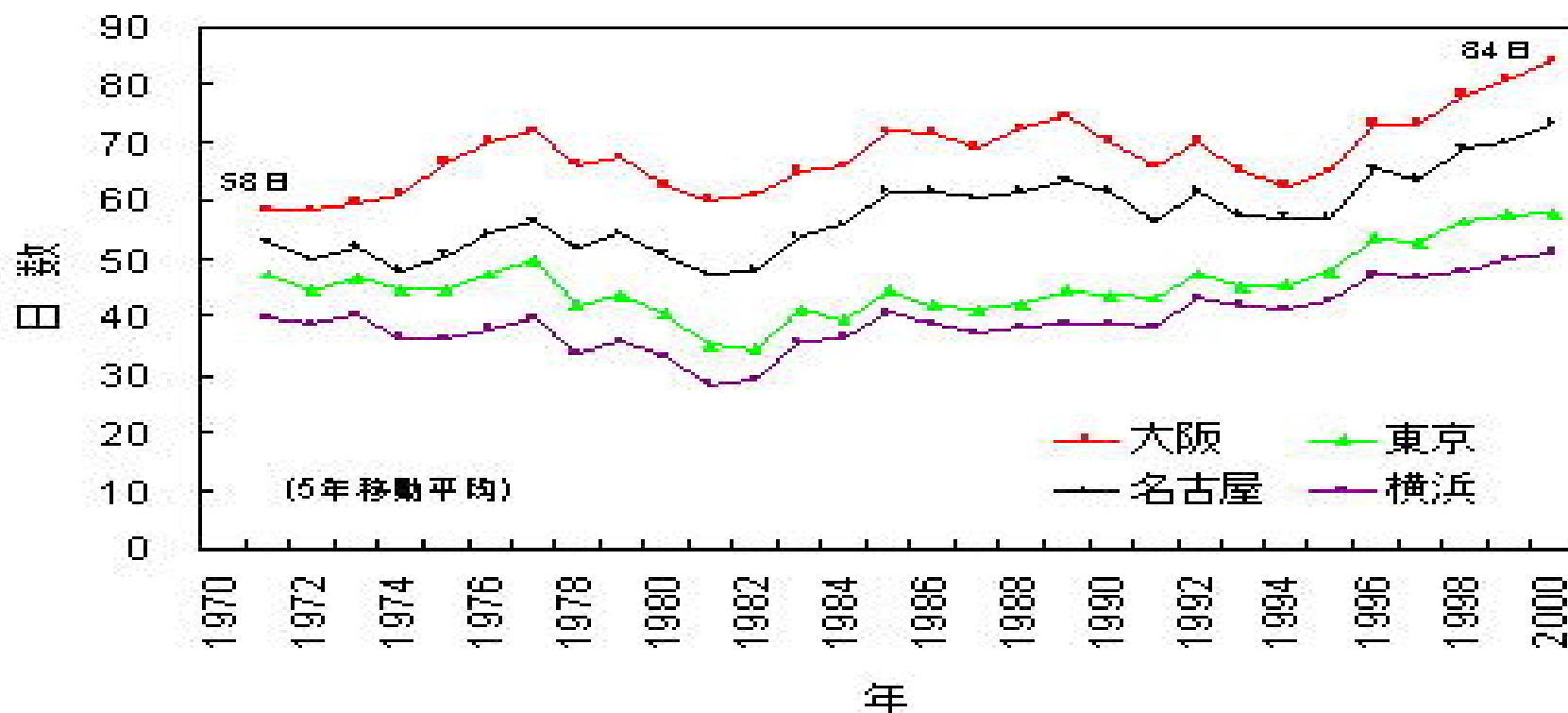
- ここ100年で平均気温だと2.1℃日本平均1.0℃

この差がヒートアイランドといわれている



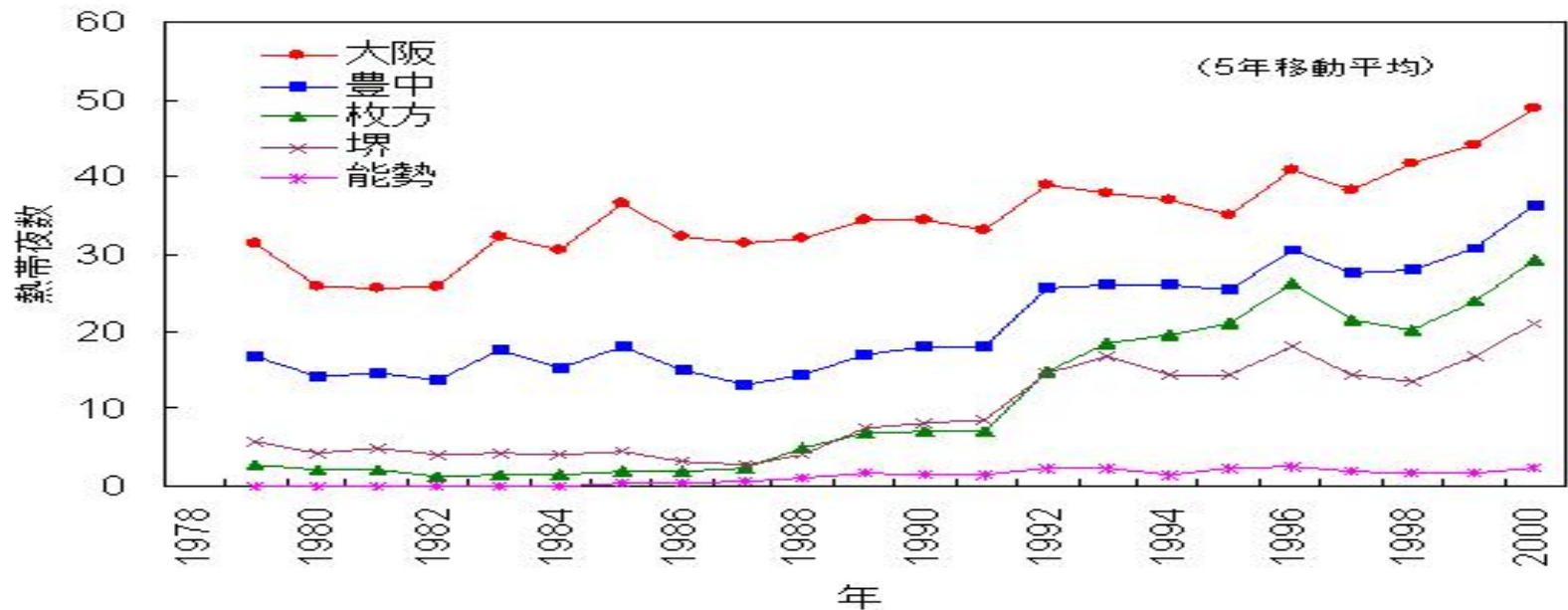
現状(大阪)・・・真夏日

- ここ30年で真夏日が1.4倍増
この4都市の中で最悪の伸び率



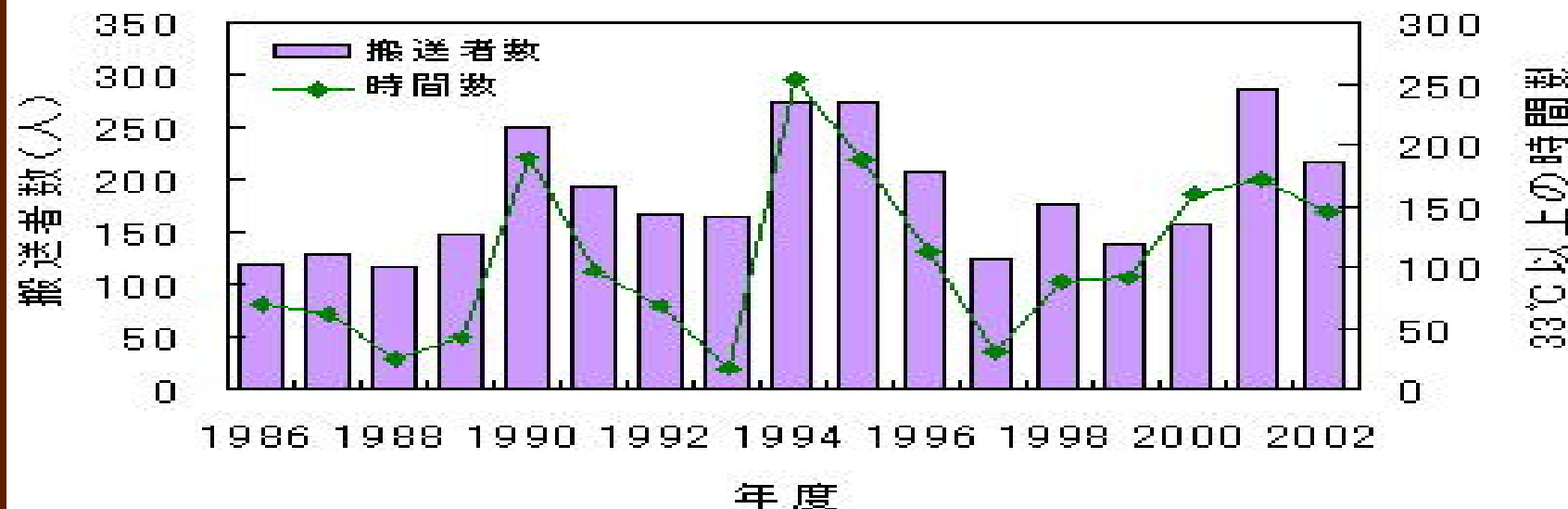
現状(大阪)・・・熱帯夜

- 能勢を除く4都市で1992年から大幅に増加
能勢は人口が少なく、自然が豊かな為増加していないと考えられる



現状(大阪)・・・熱中症

- 33℃以上の時間が長いほど患者数も増加



これからの展望

- 第3章で上記の大阪府の現状と対策をさわりだけでなく、もっと深くやる
- 第4章でドイツのシュツットガルトで行われたことを元に、大阪府ではどのようにできるかを調べて考えて行きたい

参考HP

- http://www.epcc.pref.osaka.jp/ondanka/heat_i/・・・大阪の環境HPヒートアイランド対策
- <http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/heat/>・・・東京都のヒートアイランド対策
- <http://www.cnb.gr.jp/heatisland/suggestion.html>・・・名古屋ヒートアイランドへの提言